

ふくあかね (モモ)

＝福島県農業総合センター果樹研究所＝

品質・栽培の特性

- 収穫期が中生種「あかつき」と晩生種「川中島白桃」の中間にあたる中晩生種。
- 肉質が緻密で果汁が多い。
- 甘みと酸味が調和した濃厚な食味。
- 着色は「あかつき」と同程度で、着色管理にシルバーシートは不要。
- 日持ちは「あかつき」よりやや劣る。
- 果実の蜜入りは「あかつき」と同程度。
- 栽培管理は「あかつき」と同等で、核障害が少なく栽培が容易である。



名前の意味

「翌日の晴天を予感させるあかね色の夕空のように、福島県の明るい未来を願って色づいた果実」という意味を込めています。

栽培上の留意点

- 過熟果では蜜入りが見られることがあるので適期収穫に努める。
- 摘蕾、摘果の遅れは小果につながるため適切な結実調節を行う。

来歴の特性

平成6年に「モモ福島1号」を母、「まさひめ」を父とした人工交配により作出した品種です。平成9年から各種特性調査、また平成12年から現地試験を継続し、平成15年にその特性を確認して育成を完了しました。

モモ福島1号(♀)

まさひめ(♂)

「ふくあかね」